

平成 2 0 年度  
第 3 回公民館運営審議会議事録

平成 2 0 年 9 月 1 2 日開催

平成 2 0 年 1 1 月 1 4 日承認

浦安市中央公民館

## 平成20年度第3回 公民館運営審議会会議

○ 日 時 平成20年9月12日(金) 午後3時～午後5時

○ 場 所 中央公民館3階第3会議室

○ 次 第

### I 開会

1. 委員長挨拶
2. 教育委員会挨拶

### II 協議

#### 1. 報告事項

- (1) 前回定例会会議内容の確認
- (2) 公民館主催事業参加状況報告(平成20年7月～8月)
- (3) 公民館文化祭準備の進捗状況

#### 2. 審議事項

- (1) 公民館主催事業開催計画(平成20年10月～12月)
- (2) 提言「子どもたちを地域で育てていくための公民館の役割について」協議

### III その他

- (1) 次回定例会議の予定

平成20年11月14日(金)午後3時開会、浦安市中央公民館

○ 出席委員

委員長  
委員  
委員  
委員  
委員  
委員  
委員  
委員  
委員

塙 田 里 勉  
岡 小 田 恵 美  
佐々木 照 子  
須原 恵 子  
林 正 雄  
竹 本 正 和  
大 杉 麻 美  
樋 口 末 吉  
杉 山 かおる

○ 出席説明者等

中央公民館長  
堀江公民館長  
富岡公民館長  
美浜公民館長  
当代島公民館長  
日の出公民館長

山 田 雄 造  
高 梨 晶 子  
石 井 一 義  
飯 塚 義 勝  
峯 崎 清 貴  
吉 田 敏 輝

## I [開 会]

1. 委員長挨拶
2. 教育委員会挨拶（第3回定例会 教育民生常任委員会のため挨拶なし）

## II [協 議]

### 1. 報告事項

#### (1) 前回会議内容の確認

原案どおり承認。

#### (2) 公民館主催事業参加状況報告（平成20年7月～8月）

山田中央公民館長、高梨堀江公民館長、石井富岡公民館長、飯塚美浜公民館長、峯崎当代島公民館長及び吉田日の出公民館長から資料に基づき説明。

質疑は以下のとおり

（委員）

堀江わくわく体験の内容はどのようなものですか。

（高梨堀江公民館長）

牛乳パックが大変身というテーマで、牛乳パックで小物などを作ります。

小1、小2が対象なので、ハサミが想定したよりも使えない状況がありました。

#### (3) 公民館文化祭開催結果報告

山田中央公民館長、高梨堀江公民館長、石井富岡公民館長、飯塚美浜公民館長、吉田日の出公民館長より報告

### 2. 審議事項

#### (1) 公民館主催事業開催計画（平成20年10月～12月）

山田中央公民館長、高梨堀江公民館長、石井富岡公民館長、飯塚美浜公民館長、峯崎当代島公民館長及び吉田日の出公民館長から資料に基づき説明。

#### (2) 提言「子どもたちを地域で育てていくための公民館の役割について」

（委員長）

提言につきましては、検討項目（案）を見ていくと、かなり項目の数が多い。

少し整理して考えた方が良いのかと思う。

まず、（検討項目1）地域の範囲については、把握できる範囲は中学校区になるのではないか。

そして、その地域の中で協力していただけるのが、青少年健全育成連絡会や民生委員連協などの団体ではないかと思う。

この地域については、範囲をしぼって、考えたらどうか。

つづいて、（検討項目2）学校と地域のつながりでは、学校が公民館に求めているのは何なのか？学校と公民館がどんなつながりなのか？考えていかなければならない。

（検討項目3）学校と地域を繋げる公民館の役割では、今まで子ども達に対してどんなことをしてきたのか、また、何ができるのか、やってほしいのか、委員さんから出していただいて、ご意見をお聞きしたい。

事例としては、郷土博物館では、ある意味で活発なのは、各学校から1名委員を出し原則毎月1回集って連絡の場をもっていることがあげられる。

それと同じように中学校区内の各小中学校から人を出してもらい、地区の公民館との打合せを年3・4回でも持って、学校としてどんなことなら参加できるか、日常的にどんなことが出来るのかニーズを聴いたり、公民館の持っている情報を知らせるなど連絡調整の場を持つことも考えられるのでは。

今年度の関東甲信越静公民館研究大会の中で、子どもと若者と公民館というテーマで、色々な事を考えているところもあり、たとえば伝統芸能をとおして子どもたちの活動を公民館で行うなど、その市の特色を持ったものを中心に据えて活動しているところもあった。

たとえば、中央・当代島公民館は、伝統芸能の活動団体はあるが、新しい地域の日の出などは、新しい特色を持った活動でよいと思う。それらの指導などを地域の方にスタートから関わってもらい、地域の特色ある活動をとおし子どもたちを育てていくことも考えられる。

今までやってきた事が根をはり、実を持っていくような方向で考えていくと、今回の提言の答えにある部分近づくのではないかと思う。

皆様のいろいろなご意見をいただいきたいと思う。

国・県・市の施策についての資料の説明。

（山田中央公民館長）

今回、学校と地域の連携ということで、若干説明をいたします。

国、県、市の基本計画より、ピックアップしたのですが、子ども達の健全な育成を図るための国、県、市の動きで、教育基本法はじめ、子どもをそだてていくのは、学校だけではなく、地域全体で育てていくとなっています。

浦安市の第2基本計画の中で、中学校区を基本単位として調整するようになっています。

また、生涯学習課が実施した「学校・地域連携に関するアンケート調査」について、4ページに掲載のあるように13団体につきましては、定期的に年数回学校支援をおこなっている。

今後の支援について「積極的に支援していきたい」、「出来るだけ支援していきたい」という団体数はかなり多くなっている。

(委員長)

調査の目的2ページあたりをご覧頂きますと、こういう項も、必要ではということが理解できます。ここでの団体の中、公民館利用団体がどのくらいかはわかりませんね。

提言項目に関しては、もちろん今日ご意見をいただいて結構なんですけど、実際には、次回にご意見をいただくという事に、したいと思います。

意見は以下のとおり

(委員)

この問題については、青少年相談員、役員会の中でも、討議していきたい。青少年健全育成事務局も青少年相談員が行っている。

その、中学校区会の中に、公民館の館長も入ったら情報交換ができるので、いいのではないかと思う。

将来的には、中学校区でくくり相談活動が出来たらと思っている。また、その中で公民館と一緒に事業ができたらと思っている。

(委員)

公民館では、色々な事をやっている。

どんなことが良いのか、整理していかなければならない。

子どもが主体のものを公民館がとりいれられるのか。

課題から何か見えてくると思う。

(委員)

地域の区切りを中学校区とするのは適当だと思う。

地域と家庭では、親への教育と学校の先生方の希望を踏まえ適宜、最適な学習環境や手段を整えられる良い関係を築いて欲しい。

(委員)

学校支援コーディネーターは、地域支援コーディネーターだった。

地域で、指導する人を育成しているのか。

(委員長)

具体的な事を示したが、そういうところから論議を進める手法もあるが、たくさんの

論議、ご意見の中でまとめていければと思います。ただ無理にまとめていくというのでなくいろいろな方法が議論の中で出たということで、列記する形も考えられる。

場合によっては、1回余計に調整する会を持つかも知れません。

### Ⅲその他

#### 4. 連絡事項

##### (1) 次回定例会の予定

平成20年11月14日（金）午後3時開会 浦安市中央公民館

（閉 会）